

予想利益のバイアス補正と インプライド資本コストの推定

MTEC 主任研究員 野崎 真利¹

要旨

本論文では、Fama and French (2006) や Hou, van Dijk and Zhang (2010) によって提案された回帰モデルによる予想利益の推定方法を用いてインプライド資本コストの推定を行い、東洋経済予想のバイアス補正効果や実現収益率との関係性について比較検証を行った。実証分析の結果、回帰モデルにより推定された予想利益は、東洋経済予想に対してバイアスを補正する効果があり、また推定した利益を用いて算出したインプライド資本コストは、東洋経済予想を用いて算出したインプライド資本コストと比べて実現収益率との統計的な関係性が高まることがわかった。さらに、回帰モデルから推定した予想利益と東洋経済の予想利益との差で定義した推定予測誤差は、実現収益率の格差について追加的な情報をもたらすことを確認した。

¹本稿の執筆にあたり、有益なコメントをくださいました MTEC の磯貝主任研究員に謝意を表します。なお本稿における分析・評価は全て筆者個人に帰属し、誤りに対する責任も全て筆者に帰するものです。